



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順
コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,611	△20.3	266	△64.0	209	△66.2	109	△64.9
23年3月期第1四半期	10,802	22.1	740	—	619	—	312	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 454百万円 (17.5%) 23年3月期第1四半期 386百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	11.22	—
23年3月期第1四半期	31.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	32,878	—	8,603	—	—	17.8
23年3月期	31,681	—	8,168	—	—	17.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,865百万円 23年3月期 5,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期末の配当につきましては、今後の経営環境が不透明であることなどから、現時点では未定とし、業績動向等を総合的に勘案し、あらためてお知らせいたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	38,000	△12.1	600	△73.4	300	△83.6	50	△92.7	5.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、東日本大震災の影響により合理的な算定が困難なため、記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	9,771,000 株	23年3月期	9,771,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	4,855 株	23年3月期	4,855 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	9,766,145 株	23年3月期1Q	9,766,254 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、先進国では財政の先行き不安や失業率の高止まりなどの景気下振れリスクを内包しつつも持ち直しの兆しを見せ、また新興国では内需を中心に景気は拡大を続けており、全体として穏やかな回復基調で推移しました。国内では平成23年3月に発生した東日本大震災の影響を強く受け、供給面の回復が遅れていましたが、一部においては震災以前の水準を徐々に取り戻しつつあります。

当社グループが属する自動車業界では、震災の影響は強く、工場の稼働停止に起因する部品の供給不足などにより、国内だけでなく海外での生産活動にも支障が生じました。また、生産設備の復旧の遅れや夏場にかけて懸念される電力不足など、課題への対策が急務となりました。

このような状況のもと、当社グループは、震災の影響を大きく受けながらも、外的環境に影響されない「ボトム経営体質」の構築に注力してまいりました。そのほかには、生産に関わる品質の向上や安全性の確保、強みとなるコア技術の深化といった、グローバル企業としての基盤構築に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,611百万円（前年同四半期比20.3%減）、営業利益は266百万円（前年同四半期比64.0%減）、経常利益は209百万円（前年同四半期比66.2%減）、四半期純利益は109百万円（前年同四半期比64.9%減）となりました。

なお、東日本大震災の影響により、災害による損失79百万円を特別損失に計上しております。

報告セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により顧客が生産活動を停止したため、大きな減収減益の要因となりました。特に当社のメイン商品である車体プレス部品においては、長期間の減産を余儀なくされたほか、金型においても、顧客の新機種開発計画が延期されるなどしたため、生産計画を大きく変更する必要に迫られました。

以上の結果、売上高は2,304百万円（前年同四半期比49.4%減）、経常損失は16百万円（前年同四半期は103百万円の経常利益）となりました。

(タイ)

タイにおいては、金利上昇や政情不安などのリスク要因は散見されておりますが、自動車産業の成長による輸出の増加基調や国内消費の拡大に支えられ、生産は好調に推移しました。

以上の結果、売上高は2,499百万円（前年同四半期比9.0%増）、経常利益は118百万円（前年同四半期比30.6%増）となりました。

(広州)

広州においては、自動車の普及は拡大を続けており、依然として好況を保っております。しかしながら、他社部品メーカーとの受注競争が激化しているほか、顧客の生産車種の切り替わりがあったため、生産は減少いたしました。

以上の結果、売上高は2,576百万円（前年同四半期比17.3%減）、経常利益は175百万円（前年同四半期比63.4%減）となりました。

(武漢)

武漢においては、好調な中国経済に支えられ、主要顧客の自動車生産が拡大したため、生産は増加しました。

以上の結果、売上高は1,143百万円(前年同四半期比33.2%増)、経常利益は85百万円(前年同四半期比52.1%増)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、サービス部門は好調だったものの、東日本大震災により完成車メーカーが生産を停止したため、商品の供給が大幅に遅れる事態となったほか、新車の発売が延期されたことにより買い控えが生じるなど、新車・中古車の販売台数は減少いたしました。

以上の結果、売上高は407百万円(前年同四半期比40.5%減)、経常損失は6百万円(前年同四半期は15百万円の経常利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第1四半期連結累計期間末における資産総額は、32,878百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,197百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が560百万円増加、受取手形及び売掛金が106百万円増加、仕掛品が495百万円増加、有形固定資産が116百万円増加したことが要因であります。

負債総額は24,274百万円となり、前連結会計年度末と比較し、761百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が525百万円増加、長期借入金が102百万円増加、リース債務が87百万円減少したことが要因であります。

純資産は8,603百万円となり、前連結会計年度末と比較し、435百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が89百万円増加、為替換算調整勘定が200百万円増加したことが要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月20日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	595	1,156
受取手形及び売掛金	5,926	6,033
商品及び製品	332	362
仕掛品	1,312	1,807
原材料及び貯蔵品	618	553
その他	808	811
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	9,590	10,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,358	5,341
機械装置及び運搬具(純額)	5,076	4,965
工具、器具及び備品(純額)	4,721	4,177
土地	1,913	1,916
リース資産(純額)	1,175	1,103
建設仮勘定	1,410	2,267
有形固定資産合計	19,655	19,772
無形固定資産	128	120
投資その他の資産		
その他	2,324	2,284
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,307	2,267
固定資産合計	22,090	22,159
資産合計	31,681	32,878

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,357	5,381
短期借入金	7,583	8,109
リース債務	373	375
未払法人税等	149	49
賞与引当金	231	147
その他	1,280	1,661
流動負債合計	14,976	15,725
固定負債		
長期借入金	6,526	6,629
リース債務	642	552
退職給付引当金	756	764
役員退職慰労引当金	89	—
資産除去債務	80	81
負ののれん	26	24
その他	413	498
固定負債合計	8,535	8,549
負債合計	23,512	24,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,363	4,453
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,334	6,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	402	388
為替換算調整勘定	△1,147	△947
その他の包括利益累計額合計	△745	△559
少数株主持分	2,579	2,738
純資産合計	8,168	8,603
負債純資産合計	31,681	32,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	10,802	8,611
売上原価	9,184	7,534
売上総利益	1,618	1,077
販売費及び一般管理費	877	810
営業利益	740	266
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	4	5
助成金収入	—	57
その他	16	11
営業外収益合計	22	76
営業外費用		
支払利息	118	94
為替差損	22	21
その他	2	18
営業外費用合計	143	134
経常利益	619	209
特別利益		
固定資産売却益	11	0
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産売却損	35	—
固定資産廃棄損	4	4
減損損失	2	—
災害による損失	—	79
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	—
その他	4	10
特別損失合計	84	95
税金等調整前四半期純利益	546	114
法人税等	121	△76
少数株主損益調整前四半期純利益	424	191
少数株主利益	112	81
四半期純利益	312	109

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	424	191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△192	△14
為替換算調整勘定	154	277
その他の包括利益合計	△37	263
四半期包括利益	386	454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237	295
少数株主に係る四半期包括利益	149	159

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,066	2,246	2,949	857	683	10,802
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	491	46	167	0	2	708
計	4,557	2,293	3,116	857	685	11,511
セグメント利益	103	90	477	56	15	743

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	743
セグメント間取引消去	△106
その他の調整額	△17
四半期連結損益計算書の経常利益	619

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、試作部品製作用の亜鉛合金金型を製作する工場の建物で使用が見込まれなくなった遊休資産について、今後の利用頻度は僅少と見込まれ、正味売却価額が著しく下落しているため、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、前第1四半期連結累計期間においては2百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,014	2,493	2,555	1,142	405	8,611
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	289	5	20	0	2	319
計	2,304	2,499	2,576	1,143	407	8,931
セグメント利益又は損失(△)	△16	118	175	85	△6	357

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	357
セグメント間取引消去	104
子会社配当金	△266
その他の調整額	14
四半期連結損益計算書の経常利益	209

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

該当事項はありません。